

行財政改革委員会・地域振興委員会・社会問題委員会合同勉強会

行財政改革委員会委員長 伊沢 正吉 (㈱あしぎん総合研究所 代表取締役社長)
地域振興委員会委員長 村上 龍也 (㈱村上 代表取締役)
社会問題委員会委員長 上野 勝弘 (上陽工業㈱ 代表取締役)



講師：牧野 知弘 氏

オラガH S C株式会社、株式会社オフィス牧野 代表取締役

1983年 東京大学 経済学部卒業
" 第一勧業銀行(現みずほ銀行) 入行
1986年 ボストンコンサルティンググループ入社
1989年 三井不動産入社
2002年 三井ガーデンホテル(現三井不動産ホテルマネジメント) 出向
2005年 パシフィック・コマーシャル・インベストメント代表取締役社長に就任
2006年 日本コマーシャル投資法人執行役員に就任
" 東京証券取引所REIT市場に上場
2009年3月 ㈱オフィス・牧野設立、代表取締役に就任
" 9月 オラガH S C(㈱)設立、代表取締役に就任

日時：平成27年9月8日(火) 16:00~17:30

会場：宇都宮東武ホテルグランデ

行財政改革委員会、地域振興委員会、社会問題委員会の3委員会は、昨今取りざたされている空き家問題について、「空き家問題1000万戸の衝撃」の著者牧野知弘氏を招き、合同で勉強会を開催した。勉強会後は牧野氏も交えて懇親会を実施し親交を深めた。

【勉強会要旨】※パワーポイント等より抜粋

1. 全国空き家事情

(1) 空き家は800万戸の大台へ

全国で空き家は820万戸⇒平成26年7月、総務省が5年に一回行う住宅・土地統計調査。前回調査比8.3%増加。空き家率は13.5%。空き家率ワーストは山梨県(17.2%)以下、四国地方や中国地方の都道府県が並んでいるが、大阪市が16.9%と上位。

(2) 空き家は4種類に分類

- ①賃貸用=賃貸用住宅で空き家となっているもの。
- ②売却用=売却活動を行っているため空き家となっているもの。
- ③二次的=別荘などで利用されているもの。
- ④その他=個人住宅等で空き家となっているもの。

(3) 個人住宅の空き家が急増

空き家の内、約半分が賃貸用住宅。その他

とされている個人用住宅は318万戸。個人住宅の空き家が5年前より18.3%も増加。

(4) 栃木県でも、宇都宮でも、空き家は急増

◆栃木県=空き家は14万3400戸(含む別荘) 空き家率16.3%(全国平均13.5%を大きく上回り順調に増加)

◆宇都宮市=空き家は3万9800戸、空き家率15.9%(15年前と比べ75%も空き家が増加)

(5) 賃貸住宅の空き家が増える東京圏

東京都=空き家数80万戸超(全国断トツ1位)その内、賃貸住宅の空き家は60万戸弱。最近10年間、首都圏で全国を上回る勢いで増加。

東京+30%急増、神奈川+22%増、埼玉+25.6%増。

(6) 栃木県は個人住宅の空き家が急増

この15年で約2倍の増加。宇都宮市でも10年で2.2倍増加。

(7) 宇都宮市の人口は急速に高齢化していく

2010年現在⇒生産年齢人口が概ね66%、全体の約2割が高齢者。

2040年予想⇒若年者(14歳以下)が10人に1人へ、高齢者(65歳以上)は人口の34.5%へ。今後人口は減少傾向。後期高齢者(75歳以上)人口は9万人弱に達し、全人口の約2割に。

(8) 全国で高齢者単身世帯が増加・首都圏は超高速高齢化地域へ

全世帯の3分の1(1700万戸)は単身世帯。高齢者世帯、高齢者単身世帯の激増が世帯数増加の要因。特に高齢者単身世帯はこの30年で4.2倍=膨大な空き家予備軍の存在。

(9) 空き家は世代交代とともに深刻な問題へ
第1世代：地方から都会へ(都心郊外部に住宅を購入)

第2世代：都心郊外部から都心のマンションへ。

(10) 今後、空き家は1000万戸へ

住宅の除去・滅失が進まないと空き家数は、2018年に1079万戸となり、2023年には空き家率は21%の水準となる。

さらに深刻化する「個人住宅の空き家」は500万戸時代になる。



2. 空き家が引き起こす諸問題

(1) なぜ空き家は放置されるのか?

主なアンケート調査結果(理由)⇒いつか住むかもしれない、親の実家の「片づけ」が面倒くさい、解体すると解体費がかかる、「更地にする」と固定資産税が6倍になる(小規模住宅の場合)。

(2) 固定資産税を減額できない地方自治体

固定資産税は地方自治体の税収の柱(約半分)であり容易には減額できない。

(3) 「空き家対策特別措置法」と「空き家再生事推進事業」

①「空き家対策特別措置法」=特定空き家と定められた住居への立ち入り調査・指導・勧告・命令・行政代執行の措置が可能に。対策を講じる市町村には、国及び都道府県

から一定の補助が出る。

②空き家再生推進事業=空き家バンクの活用や更地後一定期間の固定資産税減税措置がある。

(4) 住宅の価値は「資産」と「利用」の二極化へ

「資産」=「ブランド」として憧れる立地にある住宅、投資対象として国内外のマネーが集まる立地にある住宅。「利用」=「住む」ための道具、価値の値上がりは狙わず「利用価値」として評価する住宅。今後、多くの日本の住宅が少子高齢化現象の中で「利用」するための住宅に価値軸が転換していく。

(5) 東京都中央区の事例

中央区の人口は14万7000人超(平成27年7月1日)と激増。生産年齢人口割合も高く、人口の都心回帰の象徴。自治体は何にも手出ししていないのに、民間レベルで勝手にコンパクトシティ現象化している。

(6) 極点社会東京の行く末

東京の中心部に人口が集中し続けると、保育園・医療施設・介護施設が不足する。住民や集まる人々のニーズに全く答えられなくなる。

(7) 自治体の消滅

2040年、日本の896の自治体が「消滅可能性」と発表(日本創生会議)。日本の問題は「空き家」から「空き自治体へ」

3. 空き家対策の処方箋

(1) 残す

①空き家管理サービス=月の1、2回程度の巡回管理やポストを見たり、草刈りや庭清掃、室内点検、室内清掃等。いつまで放置しておくか、決断が迫られ、なるべく早期の有効活用・賃貸・売却の意思決定が必要となる。

②有効活用=空き家を借り上げ、訪日外国人用に中長期で賃貸するシステム。旅館業法との兼ね合いが焦点。合法的には農林水産省で農山漁村での「民泊」として登録し、体験型旅行を志向する旅行者に提供。

③賃貸・売却=空き家バンク等を通じた賃貸借の推進。賃貸人側には、空き家の改修費の補助、賃借人の改装を認める。賃借人側には、家賃の補助、職場の確保、建物内の

改装自由化等。

(2) 解体

①利活用＝多摩市諏訪2丁目の建替え事業。

日本最大規模の一括建替え（敷地面積約19,481坪）

若い世代を中心に「新住民」の取り込みに成功したが、周辺他市の若者を吸い上げただけとの見方も。東京都下の自治体同士のサバイバル競争の状態が続くものと予想される。

②売却＝解体費の自治体補助。各自治体の財政を勘案して、金額的にどの程度まで補助するかが問題。

4. 所有権を溶かす～新しい都市計画の必要性

(1) 「家」に対する所有権＝価値観の転換が必要

かつて「家」は家族が集う大切な財産。今後、人口減少を背景に「売れない」「貸せない」「住む予定がない」＝三重苦の「負動産」の時代に。

(2) 所有権を溶かして「利用権」に転換

資産価値を失った不動産でも所有権が妨げになっており、高齢者施設等の利用権に「転換」を促す仕組みをつくる。自治体等は集めた所有権を束ねて新規の高齢者施設等を建設、供給する。

(3) 利用権を流通させるマーケットを創設

高齢者施設の利用をしない権利者のために利用権の流通マーケットを創設。相続した相続人が利用権に交換して流通マーケットで売却できるようにすれば「資産価値」の実現が図れる。

(4) 市街地再開発制度の「住宅地版」

市街地にある低利用地区の開発のための制度。

デベロッパー、ゼネコンなどが地権者を整理、容積率緩和や斜線緩和を受けて高層建築物を建て、土地の高度利用を促進。保留床をデベロッパーやゼネコンが取得することで地権者が新たな負担なく再開発建物に入居できる制度。不足する老健施設の供給につなげる。

(5) 所有権の流動化を促す

本来、価値のあったはずの住宅の所有権は

「貸せない」「売れない」＝「負動産」になっている。

もう使わない、価値のない所有権を必要な施設建設のために流動化していくという考え方「市街地再開発制度」の住宅版であり、この権利を証券化することで幅広い活用手法が出てくることが期待される。



(6) 「空き家問題」は、新しい不動産価値を創造する絶好の材料

一見、何の価値もなくなったように見える空き家を整理して、利用価値に着眼して事業を起こすことが成功への近道。そのために、土地、建物に対する従来から根深く存在する所有権という概念の根本的な転換が求められる。一部、証券化する方法もあるが、制約が強く、担保価値のなくなった不動産を証券化することは極めて困難と思われるが、ペーパーの形にして、所有権を溶かしていくのが一つの方法ではないか。

(7) 中長期的での都市計画の全面見直しを

「人口増加」「不足する不動産（住宅・オフィス）」を前提とした都市計画を見直すことが喫緊の課題。今後は人の再配置、あるいは仕事、産業の再配置を行い、市街化を抑制していく区域を増やし、市街地を集約していくことも必要。そのためには不動産の所有権に対する考え方を根本的に変えなければならない。国家的課題として、この問題を取り扱うことで「日本の未来」が切り開かれていくと確信する。

また、講義後は参加者からの質問に答えるなど、空き家問題の深刻さや今後の対応等について、さらに理解を深め、大変有意義な勉強会となった。

「栃木県台風18号等災害義援金」 贈呈式

日時：平成27年 9月25日(金) 9：30～

場所：栃木県庁 知事室



平成27年 9月 9日に発生した台風18号による大雨の影響で、栃木県、茨城県、宮城県など広い地域で、家屋の浸水や倒壊等の災害が発生。栃木県内は日光市、鹿沼市、栃木市、小山市を中心に、「人的被害：死亡3人、負傷者5人」、「住宅被害：全壊26棟、半壊105棟、床上浸水2,324棟、床下浸水3,884棟」という大きな被害を受けた。

栃木県は、今回の大雨・洪水等により被災された方の生活を支援するため、義援金の募集を開始。栃木県経済同友会では、9月17日の第4回理事会において義援金（100万円）の協力を行うことを決定した。

9月25日(金)に小林筆頭代表理事と五家専務理事が知事室を訪れ、義援金100万円の目録を知事に手渡した。福田知事からは、「被災された方々の支援に、大切に遣わせていただきます」とのコメントがあった。



モーニングセミナー 7月 テーマ「優秀経営者賞受賞者講演」



講師：稲葉 憲之 氏

獨協医科大学 学長

昭和47年	千葉大学 医学部卒業
昭和54年	医学博士（千葉大学 医学部）
平成6年	千葉大学 医学部 助教授
平成7年	獨協医科大学 産婦人科学講座主任教授
平成10年	同大学 周産期母子医療センター長
平成16年	同大学 病院長 学校法人 獨協学園 理事
平成19年	同大学 三病院統括副学長
平成23年	同大学 第八代 学長

日時：平成27年7月8日(水) 8：00～9：00
会場：宇都宮グランドホテル 扇の間
参加者：70名

【講演要旨】

～自己紹介～

私の簡単な略歴ですが、私自身は千葉大学の卒業生でございます。産婦人科医、婦人科腫瘍医、がんの専門家、専門医でありまして、現在は日本婦人科腫瘍学会、日本産科婦人科学会等の名誉会員であります。

～獨協学園の歴史～

1883年獨逸学協会学校からはじまります。まず、西周初代校長先生です。西周先生はちょっと変わったご経歴です。日本では実は昔の旧帝大は出ておりません。山口県津和野のご出身です。実際はオランダの有名なライデン大学で、5つの科を学んで帰ってきております。いろんなことをやっていますが、帝国学士院長等を歴任されております。

2代目校長が桂太郎先生でございます。それから3代目の校長が加藤弘之先生でございます。桂太郎先生は、陸将、それから首相も経験されております。加藤弘之先生は哲学者、国家学者ともいわれておりまして、初代東京

帝大の総長にもおなりになっております。次に、天野貞祐先生が、獨協学園にとっては中興の祖といわれておりますが、ちょっと変わったご経歴でございました。もちろん旧制の獨協中学のご出身であります。途中でご病気になられまして、休学をされまして、その後旧制一高を卒業され、その後さらに、神奈川県のご出身ですので、通常であれば東京帝大に入られたと思うんですが、京都帝大に行かれております。そしてその後、いろんな職に就かれており、文部大臣もされて日本育英会長もされております。

～獨協学園の概要～

私の前の学長でございました寺野先生が現在理事長をされております。獨協学園は1948年に成立いたしました。独立と協調というふうにわれわれは読み替えて進駐軍の目を逃れたというような経緯が伝えられております。

一番古いのは獨逸学協会学校、今の獨協中学、獨協高等学校、これは男子校であり、文京区関口にございます。次が草加の獨協大学であります。それから3番目が私どもの獨協医科大学。1973年4月23日が創立記念日とされております。4番目が獨協埼玉高校、中学であります。こちらは高校が1980年、中学が2001年です。こちらは男女共学でございますので、できましたら、お孫さんがいましたら、

こういった所に入っただけであればありがたいなと思っております。最後にできましたのが、姫路獨協大学。姫路市と獨協学園がお互いにお金を出し合って造った大学でございます。こういった5つの共同体という学園でございます。

～獨協医科大学について～

獨協医科大学は、医学部、看護学部、付属看護専門学校、それから埼玉県三郷市に付属看護専門学校三郷校がございます。

こういった中で、現在の付属病院、3つございます。大学病院が1167床。獨協越谷病院が723床。それから日光医療センターが199床。全部で2089床でございます。その中で、獨協越谷病院が、今年度は200床の増床が認可されております。ですから、2年後には、全部で2289床。2200床を超える大学病院ってというのは一般的にあまりないですね。ですから、かなり大きな、五指に入るぐらいの大きな病院群になる予定でございます。

財務状況で、私ども学園全体の財務規模は950億ですが、この950億円というのは、全私立大中9位でございます。私が去年の12月に2期目に公約をした内容で各部門における設備計画は、今後4年間で総額464億を使うことになり、外部の経営コンサルタントの診断の結果、獨協医科大学は収益性の高い安定した学校法人である。銀行の融資先として極めてリスクが低い。積極的に融資に応じられる理科系学校法人である。獨協医科大学の信用等级付けは上場企業クラス。しかもAランクだそうでございます。結論として、各施設計画、あるいは設備計画は推進可能である、という判断をいただき、私自身も、ちょっと本学にとっては重荷かなと思うような改革に踏み切ることができます。

『週刊ダイヤモンド全国ランキング』というので、560大学がチェックを受けました結果、総合ランキング、全体では560校中31番という評価をいただきました。私立では9番だそうです。これは私の学長として1期目でございます、かなり安心を致しました。

翌年、病院のランキングというのをやはり私ども出させていただきました。全体で5番、これは国公立関係ありませんで、順調に来ているのかなという確信を持ったデータでございます。

実は私どもの一つの泣きどころは、医師国家試験がなかなか100パーセントにならないということですね。これは去年の例ですが、一切制限をかけておりません。今のところ私立大学では1番から2番の、いわゆる受験率で、本学の国家試験合格率は87.9パーセント。各私立医大における順位は29私立医大中12番でございます。要するにこれが本当の合格率だろうと私は思います。やはり努力してきたらチャンスを与えないといけないだろうというのが私の第一方針でありますので、足切りは致しません。ですから相対的に若干の低下はございますけれども、本人たちにとってはチャンスを与えるわけですからいいのではないかなと思っております。それが志願者数に反映してきているのだらうと思っております。

駆け足で私どもの医科大学をご紹介致しました。獨協医科大学は今後も休むことなく走り続けたいと思っております。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いしたいと思います。

～終わりに～

私もこのお話がありました時、大変びっくりいたしました。私なんか、経営者のはしくれにもなりませんので、こういった所でお話をさせていただいて良いのかどうか迷いましたが、折角のお申し出でございましたので、今日も拙い話をしたわけでございます。

この度は思いもかけず栃木県経済同友会様の優秀経営者賞を賜り、誠にありがとうございました。筆頭代表理事を永らくお勤めいただいた板橋敏雄様、現筆頭代表理事、小林辰興様をはじめ、役員の方々に厚く御礼を申し上げます。

ご清聴誠にありがとうございました。

モーニングセミナー
9 月

テーマ「経済講演」
—けさの下野新聞ができるまで—



講師：河又 弘子 氏

(株)下野新聞 政経部 部長代理

宇都宮中央女子高校 卒業
千葉大学 文学部 行動科学科 卒業
昭和63年 株式会社 下野新聞社 入社
宇都宮市政記者クラブ 詰め報道部記者
東京報道部
政経部 県政記者
平成21年 佐野支局長
平成26年 政経部 経済担当デスク (政経部 部長代理)

日時：平成27年 9 月 9 日(水) 8：00～9：30 高いと思います。

会場：宇都宮グランドホテル 扇の間

参加者：63名

【講演要旨】

きょうは皆さまに、下野新聞に企業の情報を寄せてください、新聞に載ってくださいとお願いに参りました。

企業の方から、うちはこんなにすごいのを作ったのに何で載らないのと言われます。それは記者が、その情報を知らないという一言につきます。

経済記者はどうやって情報を取ってくるか、普段どこに取材に行っているかという、まずは県庁です。あとは市役所、町役場、県産業振興センター、商工会議所、農協中央会、全農栃木といった各種団体、国の出先機関や県内金融機関、信用調査会社、上場企業に行くことが多い。逆に非上場企業にはなかなか出向いていないのが現状です。そこで、県内中堅企業が情報提供する方法を紹介したいと思います。

ホームページに情報を載せたり、ファクスや郵便やメールでニュースリリースを送ったり、県庁の記者クラブなどで記者会見をするといった方法があります。新聞社や記者、支局に直接電話をするというパターンもあります。これは、後になるほど記事になる確率が

ホームページはなかなかチェックしきれない。ですからホームページに載せるだけではなく、次なるアクションを起こしていただきたい。ただファクス、郵便、メールは毎日大量に新聞社に届くので見落としてしまうことも多々あります。なので電話をいただけるとうれしく思います。次に記者会見ですが、県庁などの記者クラブでは誰でも会見ができます。幹事社に連絡を入れれば、許可が簡単に出来ます。ただ記者は興味のあるものしか取材しませんので、会見を開いても閑散としている場合もあります。会見は抵抗があるというのであれば、記者クラブにニュースリリースを出すことも可能です。

私が入社した頃は、しっかりした得意先と取引できているから取材は結構という企業もありましたが、その後、バブルが崩壊して長い不況を経験し、もの作り企業が海外に移転する中で、地元企業の考え方も変わってきたように感じます。一般消費者にも分かる物を作りたいとか、自分で販売できる物を作りたいとか、独自のサービスを提供したいという企業が増えたように思います。そういう点からもぜひ、下野新聞を活用していただきたい。こういうことをうちは始めましたとか、作りましたとかいうことを、紹介してほしいと思います。

ただ提供した情報が、そのまま載るとは限りません。記者が、載せるに値すると思ったときに初めて、記事化するステップに進みます。

では新聞社が求めている情報は何かを、あらためて紹介します。まずは新聞社、新聞、ニュースですから情報は新しくないとだめ。鮮度が命です。記事は基本的に、どこどこの会社が何日、どこで何をしたというのが定型です。これが1年前とか、4カ月前にやったというのでは扱いつらい。できるだけ早く教えてもらえればと思います。ときどき、きょう何なにをやるんだけど取材に来てくれませんかと言われることがあります。でも今から来てと言われて行けるほど人手はありませんので、前もって連絡をいただくと助かります。

次に下野新聞は地方紙ですから、本県と関係があることがポイントになります。そして、初めてであるとか他がやっていない、珍しいということがニュースになります。トレンドもありまして、今だったら地方創生、6次産業、環境関連。女性の活躍、もの作り産業、インバウンド、海外展開、マッチング。こういったものはそれだけで一つ格が上がります。そこを念頭において情報を発信してもらえると、新聞社の食いつきがよくなります。あとは、読者の関心と呼ぶかどうかは新聞に取り上げられるポイントになってきます。

情報提供のポイントについてお伝えします。5W1Hが重要です。WHAT、WHEN、WHY、WHERE、WHO、HOW。いつ、どこで、誰が、何を、どうして、どうやって。この六つを踏まえた情報を出してもらえれば、非常にありがたい。新聞はこの六つを書きます。頂戴したりリリースに、論文調だったり、行政が作る計画書調だったりするのがあります。例えば計画書風ですと、まず栃木県の位置から始まり、時代や地理的背景の説明があったりして、結局何をするのかは最後の最後に出てきたりしますが、記者も忙しいので全部読んでも暇はありません。何がポイントなのかを、分かり易く書いてもらおうと、記者も理解が早いです。特に、新聞の見出しとなる部

分。これをぜひ情報提供のポイントにしてほしいと思います。

皆さまが新聞を読む時、基本は見出しを見ていることが多いと思います。見出しはただか10文字前後で構成されています。この程度に凝縮されると、非常に分かりやすいですよ。ただこれは、専門的な技術が必要になります。そこを意識したものを出してもらえればあとは記者がどんどん取材をして行きます。逆三角形と呼んでいます。新聞は見出しや記事の最初だけ読めば大体内容が分かって、それ以上知りたければその先も読んでね、という作りになっています。リリース文書もそんなイメージで作ってもらって、一番簡単なのは県庁の記者クラブに、加盟社分の資料を作ってボックスに入れるだけで、もしかしたらどこかの新聞社が食いついてくる可能性があります。本当は他社に教えてあげる必要はなくて、下野新聞にだけ教えてくれればよいなと思ってますが。

記事に載るメリットをもう一つ紹介したいと思います。下野新聞は県内で発行していますが、インターネットの自社のホームページにも記事が載ります。経済面に載ったベタ記事と呼ばれる、見出しが1段しかない小さな記事をお持ちしました。那須塩原市にある光学レンズ加工の会社が、光学レンズ加工だけじゃなくもっと幅を広げたいと、独自の加工技術を紹介するためにルアーを作った。7色に輝く、色が変わるルアーを作って、それがベタ記事で紹介されました。小さな記事だと、私なんかは思ってしまうんですが、これがネットに載ったら、やはり、興味のある方は情報を引っ掛けてくるんですね。その会社には、県外の方からかなり問い合わせがあったそうです。何で県外からこんなに問い合わせが来るんだろうと、この企業の方は思ったと、後日談として伺いました。

そのように、地方紙ではありますが、県外にも波及効果があります。全国に広がるきっかけを作るためにも、下野新聞に情報提供をしていただければ、私どもにとっても非常にありがたいので、ぜひよろしく願いいたします。

社会貢献活動推進委員会 「中学校・高等学校への講師派遣事業」

白井アナウンサーの話し方講座 「話し方のスキルアップ」

講師：(株)栃木放送 CRTアナウンススクール校長 白井 佳子 (うすい よしこ) 氏



日 時：平成27年 7月14日(火)

16：00～17：30

会 場：栃木県産業会館 7F 特別会議室

出席者数：26名

『栃木県の次世代を担う人材の育成～キャリア教育への支援～』を活動テーマとする当委員会では、その一環として「中学校・高等学校への講師派遣事業」を実施しており、協力会員の話し方の技術向上のために、アナウンサーで、CRTアナウンススクールの校長も務める白井アナウンサーをお招きして講座を開催した。

【講座要旨】

《はじめに》

第一印象として、聴く側（生徒）に威圧感を与えないことが重要。柔らかな物腰で、相手に安心感を与えるたたずまいを心掛ける。

《「音のことば」で話そう》

「話しことば」は文字と違って残らない。聴く側にとっては一回限りである。大切なことは、音の高低や強弱も意識して「音をきちんと出す」こと。ことばの意味を届ける気持ちで声にする。その方が相手は聴き取りやすいから。また、センテンスは短く、『結論が先、説明は後』という「話の組立て」も常に意識する。その他、「相手の立場に立って話す」「意欲をもって伝える」という姿勢も大切である。

【講師略歴】

立教大学卒

1972年 札幌テレビ放送入社。テレビ、ラジオの各番組を担当。

1985年 フリーアナウンサーに転身。同年、CRTの生ワイド番組を担当。

1996年 小田島建夫氏とともに、CRTアナウンススクールを開講。

アナウンサーとして活躍する一方、栃木県教育委員、栃木県国際交流協会副会長、宇都宮の地酒を楽しむ会会長を務める。

《「聞きやすく」話そう》

大勢の前で話すときは、マイクがあってもなくても、一番後ろの人に向かって話をするつもりで話す。そうすると、自然とゆっくりていねいな話し方になる。マイクがあるときは、声に対して直角に、口から近すぎず遠すぎず、ちょうどよい位置で持つ。声を出す大きさは、4～5m先の人に呼びかけるくらいの音量がちょうどよい。これくらいが自分も疲れないし、聴いている人も疲れない。そして何よりも相手が聴き取りやすい声の大きさなのである。

また、話は「そば」と一緒に、長すぎると食べにくい（分かりづらい）。適当な長さに切った方が食べやすいように、話も短くした方が、聞いている相手にとっては聞きやすい。話し言葉はできるだけ短く、『一文＝一情報』を心掛ける。



《「組み立てて」話そう》

「話しことば」には必ず相手がいる。自分が一生懸命に話しても、伝わったかどうかを決めるのは相手である。分かりやすく伝えるためにも、起承転結を考えて、「全体」から「部分」へと話を展開する。第1段階で「大枠」を話し、第2段階で「細かい話」をするように心掛ける。例えば道順を説明するにも、まずは方角や着くまでの時間、距離などを伝え、その後に細かい道順を説明した方が、聴く側も安心して耳を傾けられる。

【話を組み立てるための具体的策】

- ①伝えたいこと、話したいことを決める。
- ②材料、要素、エピソードを集める。
- ③時間の制限などを考え、内容をしぼる。
(欲張らない、50分の枠なら40分の内容で)
- ④全体を表す魅力的なタイトルを付ける。
- ⑤話を整理・分類し、項目ごとに仕分ける。
- ⑥項目に中身が分かる見出しを付ける。
- ⑦話の展開を考え、項目の並びを決める。
- ⑧項目をはっきり書いた「メモ」を作る。
(原稿は書かない、棒読みになってしまう)
- ⑨本番を意識し、リハーサルを試してみる。



《エピソードが「宝物」》

何と言っても、自分が経験したエピソードが「宝物」。話を聴いた後もずっと心に残っている話は、往々にしてエピソードが多い。ただし、自慢話にならないように。失敗例こそが相手の胸に響く。さらに、教訓めいたお説教は心に響かない。スポーツ選手などを例に話をすることもあると思うが、自分が体験

した話は何よりの宝物であり、自分の経験による話の方が相手にもストレートに届く。

【いいスピーチのための12条】

- ①一番言いたいことを、一番先に
- ②短いセンテンスで
- ③論理的に、筋道を立てて
- ④常套句を排して
- ⑤具体例を入れながら
- ⑥当日ネタに配慮して
- ⑦事実やエピソードで話を補強
- ⑧一項目は3分を目安に
- ⑨(あがり症の人は)原稿を書いてみる
- ⑩箇条書きのメモをさりげなく持つ
- ⑪ユーモアは狙わず、アドリブから
- ⑫上達のためにはトレーニングと経験を



【質疑応答】

- Q. 「メモは縦書き、横書きどちらがよいか？」
 A. 「ニュースは縦書き。でも、自分が見やすい向きでよい。手書きの方が読みやすい。」
- Q. 「パワーポイントはどの程度必要か？」
 A. 「写真や絵なら有効。字をびっしり載せてもあまり意味がない。読まない。具体物などを用意するのも有効。」

《終わりに》

終始、和やかな雰囲気の中にも真剣さが漂う、中身の濃い講座となった。

第2回行財政改革委員会（函館視察）

委員長 伊沢 正吉
(株あしぎん総合研究所 代表取締役社長役)



日 時：平成27年7月16日(木)～17日(金)

参加人数：6名

視察先：

I 函館商工会議所

1. 視察の目的

2015年度末開業予定の北海道新幹線。商工会議所を中心に北海道新幹線新函館開業対策推進機構（以下、「対策推進機構」）が「北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン（以下、「アクションプラン」）を策定。函館市は世界的にも有名な観光地であるが、人口減少や高齢化が進む中、活性化に向けた課題や問題が多い。推進機構による北海道新幹線開業に伴う函館市の活性化に向けた取り組みについて視察する。

2. 市の概要（H26年6月30日現在）

人口：272,591 世帯数：144,023

世帯面積：667,95K㎡

3. 函館市が乗り越えるべき課題

函館市が乗り越えるべき課題（H17国調等）国勢調査などの統計から、人口減少が進む中、対策を講じていく必要のある項目。（函館市と同規模の人口20～40万人の全国66都市を抽出し劣後していた項目）

①完全失業率の高さ②課税対象所得額の低さ③男性の少なさ④若い世代の有配偶率の低さ⑤離婚率の高さ⑥14歳以下の年少人口比率の低さ現状から、函館市が取り組むべき課題

は「少婚対策」。函館市の合計特殊出生率の計算対象である15～49歳の人口は、女性に比べ男性が4千人も少ない。よって求められる少婚対策は男性労働力の定着化（結婚できると思える労働環境）⇒雇用創出。

4. 消滅可能性都市脱却に向けての方策

①女性就労者の多い分野への男性就労拡大⇒医療・介護職等の分野での男性就労の拡大。②若年男女が結婚を決意し文化的生活ができる給与の確保③若年世帯が市内で持ち家を取得し易い環境整備④企業後継者不在対策としての事業承継・M&A推進⑤地元企業は定年退職者1人につき若年者1人を補充採用⇒20歳代の市民を地元に着着。

5. 対策推進機構の主な取り組み（商工会議所青年部・商工会議所）

①新函館北斗駅⇔函館駅の鉄道アクセスの充実⇒新幹線は函館駅に停車しないため、新函館北斗駅⇔函館駅に道央圏の実績に準じ、主要時間20分以内を実現できる車輛を導入等。②マーケティング強化等戦略的なPR活動⇒新幹線利用意向調査では、宇都宮市で90%が訪函の動機となるほか、新幹線利用意向も81%と高水準（H21）。⇒関東・東北地区プロモーション（北海道物産展会場での新幹線PRグッズ・函館観光PR誌の頒布）の実施。H25年度10箇所24稼働日、H26年度17箇所28稼働日③Hakodate City Wi-Fi（公衆無線LAN拠点整備）⇒全国の路面電車車内サービスとしては国内初。スマートフォン・タブレット端末を利用する観光客や海外観光客（国内のインターネットアカウントを有しない）の情報基盤として構築。④東北新幹線沿線函館PRキャラバン（H26商工会議所青年部）⇒埼玉以北、新幹線沿線33都市の商工会議所青年部を2日間で訪問。⑤ステークホルダーの連携促進による産業育成・創出（商工会議所）⇒津軽海峡観光クライスター会議（H23～対弘前）⇒会員企業パートナーズシップ懇談会（H25～対青森）

6. 函館市の魅力～新函館北斗開業に向けて

(1) 函館市の魅力

〈ブランド総合研究所〉「地域ブランド調査2014」魅力度（総合）ランキング第1位（1,000市町村中）

〈日経リサーチ〉「地域ブランド戦略サーベイ2013」市・特別区ランキング第5位（756地域中）

〈北海道じゃらん〉

「道内人気観光地調査(2013)」これまでに行った旅行先第1位。満足、良かった旅行先第1位等。※観光地としての魅力は常に安定している。

(2) 新函館北斗開業

①開業に向け、公共・民間それぞれの役割を認識し、やるべき事を着実に実践する。

◆公共⇒開業迄に、民間の人達をやる気にさせる支援施策、民間に出来ない基盤・環境づくり（イベント・キャンペーン・インフラ整備等）。

◆民間⇒開業後、末永く利益を享受していくための、新サービス・商品の創出、再構築、磨き上げ、CS向上。

②先人達の努力の上にある新函館北斗開業⇒地元には経済波及を実現させる責務がある。

③期待と実情のギャップにチャンスがある⇒ギャップを埋めていく行動こそが地域再興のカギ。

II (株)エスイーシー

1. 視察の目的

函館地区では地域医療へのIT化を推進すべく、中核病院である市立函館病院と高橋病院、プラットフォーム開発にかかわった当社により、平成20年1月に道南地域医療連携ネットワーク「道南MedIka」を設立。栃木県にも平成25年5月から試験運用を開始している地域医療連携ネットワーク「とちまるネット」があり、ITを活用した地域活性化（医療分野）に繋がるヒントを得たいと考え、道南地域医療連携ネットワーク「道南MedIka」について、動画等による説明を受けたのち、質問事項に基づきディスカッションを行う。

2. 導入経緯

“地域で患者を診る”を理念に、患者情報

の共有、医療の質の向上を図るため、インターネットで患者の投薬歴や検査データ、手術記録、画像データなどを複数の医療機関が共有し、検査の重複をなくすなど患者の負担軽減を目指す。⇒「ID Link」※2活用して、参加する医療施設間をインターネット回線で結び、セキュリティーを担保しつつ、診療情報の共有を実現。※2：地域に分散した診療情報を統合して共有するネットワークシステム。



3. 対外的評価

「インターネットを活用した地域医療連携システム」が、総務省のu-Japanベストプラクティス2008で大賞を受賞。

4. 質疑

Q：道南地域医療連携ネットワーク「道南MedIka」導入に関して、函館市等行政との連携は？

A：中核病院は函館市立病院であるが、行政との連携は特にない。

Q：費用の面（イニシャルコストとランニングコスト）は？

A：情報閲覧のみの施設＝7,000円／月、情報開示施設（300床以上）＝80,000円／月（300床未満）＝50,000円／月また、インターネットを利用しながら連携サーバに保持しない安価で安全なシステム。

Q：導入時、補助金（国、県、市）の有無は？

A：特にない。

Q：加盟している病院からの意見・要望は？

A：年に1回、地域医療連携協議会等の会議があり、意見や要望を取り入れるようにしている。

Q：利用している患者の方の反響は？

A：満足度は高い。病病連携で急性期⇒回復期でも病気の状態を病院間でタイムリーに把握でき患者自身に安心を与えられる。

Q：メリット・デメリットは？

A：医療連携ネットワークに参加している施設の診療情報を共有できるため一貫した医療が可能。担当医のスキルアップ等に繋がる反面、不要（診察、投薬など）なものも分かってしまう。

Ⅲ 函館市役所

1. 視察の目的

人口減少、高齢化が進む中、平成23年12月に「函館市都市計画マスタープラン」を改定。中心市街地や路面電車沿線などに都市機能を集約し、周辺に居住してもらうことにより「コンパクトなまちづくり」を目指している。宇都宮市においても「LRT」や「コンパクトシティ」構想が検討されており、函館市の事業や取り組みについて視察する。

2. コンパクトなまちづくりを実現するための5つの「まちづくりの目標」

※講義及び「函館市都市計画マスタープラン」より、主な項目について抜粋。

(1) 歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり

①市民総体の利便性の向上のため、商業・業務拠点（中心市街地内）、都市活動軸沿線及び路面電車沿線に、大規模公共公益施設の集約を進める。また、都市機能、都市基盤などのストックが集約している商業・業務拠点や観光拠点に、商業・業務機能の集約を図る。

②歩いてまたは公共交通を利用して生活を送ることができるよう、都市活動軸沿線、路面電車沿線及び主要幹線道路沿道において、市民が日常的に利用する店舗や医療・金融機関など生活利便施設の維持・充実を促進するとともに、商業・業務拠点とその周辺及び観光拠点とその周辺ならびに都市活動軸沿線、路面電車沿線及び主要幹線道路沿道において、居住機能の集積を図る。

(2) 快適・安全なまちづくり

市民誰もが快適な暮らしを送ることができ

るよう身近な都市基盤である生活道路や街区公園などの整備を進めるとともに、高齢者や子育て世帯などの居住支援に努め、住環境の向上を図る。

(3) 市街地と農漁村地域が共生するまちづくり

市街地と農漁村地域それぞれ住む人々がお互いの地域の魅力を分かち合い、互いに発展していくよう、市街地におけるにぎわい・利便性や農漁村地域における豊かな自然環境を生かし、市街地と農漁村地域との交流を促進する。

(4) 美しくうるおいあふれるまちづくり

うるおいのある都市空間が形成されるよう、公園や池、水辺空間の整備を推進するほか、民間施設・公共施設の敷地や公共用地などを活用し市街地における緑化を図る。

(5) 経済活動を支えるまちづくり

農林水産業、商工業などの産業が活発かつ円滑に活動できるよう、これら産業の物流面を支える広域幹線道路・幹線道路や港湾施設の整備を進める。



～終わりに～

2日間の限られた時間での視察となったが、地域活性化に向けた行政や民間企業の方策について学ぶことが出来て有意義な視察となった。観光地としては世界的に有名な函館市ではあるが、人口減少や高齢化は非常に深刻な問題として捉えており、2016年3月に北海道新幹線開業を契機に更なる観光地としての魅力をアピールしようとしている。また、医療分野のIT化は全国的にも進んでおり、栃木県にも同様のシステムが稼働しており、行財政の合理的運営の観点から医療分野に限らない利活用等、今後の研究の参考にしていきたい。

社会貢献活動推進委員会 「特別講演会」

「サーバント・リーダーシップ」～支配型の対極にあるリーダーシップ哲学～

講師：アジア学院 アジア農村指導者養成専門学校 校長 荒川 朋子（あらかわ ともこ）氏



日 時：平成27年 7月27日(月)

16：00～17：30

会 場：宇都宮東武ホテルグランデ 6 F 「龍田」

出席者数：27名

アジア学院は、1973年に設立された国際人材養成機関である。栃木県那須塩原市に学校があり、アジア・アフリカなどの農村地域から学生を招き、その土地の人々と共に働く"草の根"の農村開発指導者を養成する、全国的にも珍しい教育機関である。今回は、そのアジア学院の校長を務める荒川 朋子（あらかわ ともこ）氏をお招きし、「サーバント・リーダーシップ～支配型の対極にあるリーダーシップ哲学～」というテーマで、特別講演会を開催した。

【生方委員長 挨拶趣旨】



アジア学院は、国籍、民族、宗教など、様々な違いを乗り越え、共に学び、共に成長しな

【講師略歴】

群馬県高崎市出身。国際基督教大学教養学部卒
ミシガン州立大学大学院社会学修士課程修了
1995年 10月よりアジア学院へ。

2003年

～2009年 アジア学院 教務主任を務める。

2004年

～2014年 アジア学院 副校長を務める。

2015年

アジア学院 校長就任

がら、農業指導者を育てていくというすばらしい教育を行っている。その中でも、「サーバント・リーダーシップ（奉仕するリーダー）」に重点を置いて教育を行っていると聞いている。私たち経営者は、どうしてもトップダウン方式の支配型リーダーになりがちである。今日はしっかり「サーバント・リーダーシップ」という考え方について学んでいきたい。

【講演要旨】

《最初にアジア学院の紹介DVDを鑑賞》

アジア学院：佐久間 郁（さくま かおり）事務局長のナレーターで、アジア学院の紹介DVDを鑑賞。アジア学院の教育方針、教育内容など、映像と共に学校の様子が紹介された。

《サーバント・リーダーとは》

サーバント・リーダーシップとは、アメリカのロバート・グリーンリーフが1970年に提唱したリーダーシップ哲学である。「サーバント（召使い）」と「リーダー（先に立って人を導く者）」、一見相反するもののようだが、奉仕や支援を通じて周囲から信頼を得て、主体的に協力してもらえらる状況を作り出していくリーダー、つまりこれが「サーバント・リーダー」である。まずは、そもそもサーバントであることが先であり、リーダーであることは後から付いてくるもの。そもそもリーダーである人、並々ならぬ権力への執着があり、物欲を満足させる必要がある人とは全く異な

るのである。

《支配型と奉仕型（サーバント）の違い》

【支配型リーダーと奉仕型リーダーの違い】

支配型リーダー	奉仕型リーダー
権力の座につきたい	他者に奉仕したい
自分が賞賛されたい	ウィンウィンの関係
相手を畏怖させる	相手を尊重する
説明、命令が中心	問いかけ、傾聴が中心
自分の考えが中心	メンバーと共に学ぶ
自分の地位を上げる	個人と組織の成長
失敗を罰する	失敗から学ぶ
リーダーの権限で決定	自然と決まる

【支配型リーダーに従うメンバーと

奉仕型リーダーに従うメンバーの行動の比較】

支配型リーダーに従うメンバー行動	奉仕型リーダーに従うメンバー行動
恐れや義務感で行動	やりたい気持ちで行動
言われてから行動	言われる前に行動
言われた通りにやる	工夫しながらやる
リーダーの機嫌を伺う	やるべきことに集中
役割や指示に集中	リーダーの考えを意識
従っている感覚	共に行動している感覚
リーダーを信頼しない	リーダーを信頼する
自己中心的になりがち	周囲に役立つとする

サーバント・リーダーシップの決定的とも言える資質は、心の中の道徳的な感覚、つまり「良心」である。アジア学院のように、異なる宗教、異なる文化の中では、この普遍的な「良心（道徳・倫理観）」が、リーダーシップの根幹となっているのを日々実感する。

《サーバント・リーダーシップの資質》

アジア学院では2010年に「サーバント・リーダーシップ」について勉強会を開き、その中で必要とされる「7つの資質」についてまとめた。それは、①「人々に力を与える」②「人々への愛」③「自己の気づき」④「聴く」⑤「説得する力」⑥「信頼」⑦「創造的なビジョンを描き、人々と社会に変化をもたらす」の7つである。その中でも、④「聴く」という資質がとても重要。傾聴の姿勢がサーバントとしては必要不可欠な資質である。

《アジア学院のリーダーのイメージ》

アジア学院の描くリーダーのイメージは、「自らの自由な意思で、社会の基盤である草の根の人々と共に汗を流して、命を支える食べ物を生産し、それを公正に分ち合うため、今、具体的に働く人である。すべての人々、すべてのものが、それぞれの持ち味を互いに生かし、その可能性、秘められた霊性をできるだけ伸ばすよう不断の努力をする、生き生きとした社会をつくるのに欠かすことのできないリーダー」である。「サーバント・リーダーシップ」という考え方がアジア学院創立時からあったわけではないが、もともと描いていたリーダーのイメージを分析していくと、驚くほどサーバント・リーダーシップの必要な資質と重なる。「サーバント・リーダーシップ」はアジア学院創立からの伝統なのである。例えば、アジア学院では、理事長がトイレ掃除をしたり、職員も一緒になって農作業を行ったりする。食事は上座や下座も関係なく、丸いテーブルで輪になって食べる。「人に使える指導者」、これがアジア学院の伝統である。



《終わりに…》

「サーバント・リーダーシップ」という考え方は、今までトップダウン式にやっていた人にとっては変えることが難しいかもしれない。しかし、卒業した学生たちの感想として、「この考え方が非常に役に立った」という意見が数多く聞かれた。皆様にとっても、今回の講演が何かしらのプラスになればうれしい限りである。

国際化推進委員会 国際キャリア開発プログラムへの協力

委員長 益子 博美（株花のギフト社 代表取締役社長）

日 時：平成27年 8月29日(土)～31日(月)

場 所：コンセーレ（栃木県青年会館）



「グローバル人材の育成」をテーマに調査研究を行っている当委員会では、宇都宮大学、大学コンソーシアムとちぎ等が主催する「国際キャリア開発プログラム」への協力事業の一環として、集中授業等へオブザーバーとして参加した。

〈国際キャリア開発プログラムとは〉

主催は宇都宮大学、コンソーシアムとちぎ。豊富な経験を有する講師とともに、働くとは何か、そして仕事と地域や世界とのつながりについて考え、テーマ別の分科会ごとに、ワークショップやディスカッションを取り入れた、合宿形式の集中授業。主に全国の学生を対象としているが、一般の方からの応募もある。また、高校生や社会人も毎年参加しており世代等を超えたプログラムとなっている。

～セミナープログラム（抜粋）～

- 1日目 全体講義／ワークショップ
パネルトーク
分科会
交流会
- 2日目 分科会
中間発表
- 3日目 全体発表
意見交換／全体統括 等



分科会では当委員長の株花のギフト社の益子氏が講師となり『事業を立ち上げよう！インバウンドのお客様に、どう「おもてなし」をする？』をテーマに、参加者たちとディスカッションを行った。



交流会では、学生が積極的に参加委員に社会や企業について、質問をし、直接、企業家と話が出来て、非常に有意義なプログラムであった。



社会貢献活動推進委員会 「講師派遣事業」先進地（東京）視察

委員長 生方 玉也（株エイム 代表取締役）

日 時：平成27年9月8日（火）

場 所：同友クラブ（パレスビル5階）

日本工業倶楽部（第5会議室）

シーボニアメンズクラブ

参加人数：7名

平成25年度からスタートした「中学校・高等学校への講師派遣事業」であるが、平成26年度には中・高合わせて15校へ、延べ21名の講師を派遣するなど、着実に成果を上げてきている。委員会主催の「話し方講座」を開催するなど、派遣講師の資質向上にも力を入れ、さらなる事業の拡充を図っている。そこで今回、年間300回を超える講師派遣を行っている先進地（東京）視察を実施した。

【同友クラブ見学】

会 場：同友クラブ（パレスビル5階）

《挨拶》同友クラブ事務局長 佐々木幸則 氏

《説明》オーエム通商アクト(株)

代表取締役 廣瀬 駒雄 氏



同友クラブは、公益社団法人経済同友会の現会員及び会員経験者、各地経済同友会の会員及び会員経験者をメンバーシップとするクラブである。

昭和26年に経済同友会会員の親睦団体として発足し、今年で64年になる。海外調査、懇談会、ゴルフや演劇鑑賞など、様々な活動を通して会員相互の絆を深めている。



【東京・経済同友会メンバーとの意見交換会】

会 場：日本工業倶楽部5階（第5会議室）

《挨拶》

経済同友会 学校と経営者の交流活動委員会

委員長 日比谷 武 氏

栃木県経済同友会 社会貢献活動推進委員会

委員長 生方 玉也 氏

《模擬授業》 アークデザイン(株)

代表取締役 林 達夫 氏



林明夫副委員長の司会進行で、講師派遣に関して数多くの経験を重ねている東京の経済同友会メンバーとの意見交換会が行われた。講師派遣に関するポイントや注意点について説明があり、「校長先生との懇談会を設けている」、「自慢話ではなく失敗談を」、「小道具を使う」等々、今後の参考になる貴重な意見を様々聴くことができた。また、栃木のメンバーからも、日頃感じている疑問や問題点に関する率直な質問が出された。



後半では、1500回を超える講演会を行ってきた『リントツ先生』こと、林達夫氏による模擬授業を生で見る機会を得た。義理と人情の「浪花節」を大切にその人間性と、実践を積み重ねてきた巧みな話術に思わず惹き込まれてしまい、予定していた時間をオーバーしてしまうほど、充実した意見交換会となった。

【講話並びに懇親会】

会 場：シーボニアメンズクラブ

《講師》特定非営利活動法人

スカイ学校支援ネットワークセンター

理事長 森本 芳男 氏



最後に、元校長先生で、墨田区で「スカイ学校支援ネットワークセンター」を発足させた、森本芳男氏の講話を聴いた。

「スカイ学校支援ネットワークセンター」は、墨田区教育委員会の委託を受け、学校と企業の架け橋として、出前授業の講師派遣を行っている組織である。平成21年の発足当時は29校の派遣数であったが、平成26年度には

300校を超える派遣を行うまでに発展し、学校・地域・行政から、高い信頼と評価を受けている。



森本氏からは、『『学校・家庭・地域』の連携をいかに進めるか～学校教育に関わる地域・企業の役割～』というテーマで講話をしていただき、これからの社会貢献活動推進委員会としてのあるべき姿、役割というものについて、示唆に富む話を聴くことができた。

講演終了後には、夕食を囲みながら講師派遣に関する成功談・失敗談に花が咲き、楽しい情報交換のひと時となった。再会を約束し、閉会となった。

報道代表者会との意見交換会



日 時：平成27年 9月15日(火) 17:15～
場 所：宇都宮東武ホテルグランデ

昨年に続き報道代表者会との意見交換会を行った。報道代表者会から幹事の読売新聞社宇都宮支局の森昭雄支局長をはじめ8名、当会からは小林筆頭代表理事をはじめ24名の総勢32名が出席し開催した。

開会に先立ち、小林筆頭代表理事から「当会の活動の中心は、10の委員会・研究会による調査研究活動。4月からは、新たな2年間を調査研究期間として、新しいテーマを設定し取り組んでいる。こういった活動をより充実したものとするためには、報道機関の皆様方のご理解が不可欠である。国や地方の情勢を熟知されている皆様から忌憚のないご指導、ご意見を頂戴したい。」との挨拶があった。



その後、各委員会の委員長や副委員長から、それぞれの委員会の新しいテーマや調査研究活動の現状を説明した。



説明に対して、森支局長から「地方創生に対して、どのように関わり、また、自治体とはどのように連携していくのか。」などの質問もあり、活発な質疑応答が行われた。また、会議後開催した意見交換会では和やかな雰囲気の中、更なる親交が深められた。



中学校・高等学校への講師派遣事業

社会貢献活動推進委員会委員長
生方 玉也 (㈱エイム 代表取締役)

第2回講師派遣



日 時：9月16日(水) 13:45~14:40

会 場：矢板市立片岡中学校

対象者：2年生、教職員約90名

講 師：生方 玉也 氏

(㈱エイム 代表取締役)

演 題：『人はなりたい自分になれる
～すべては自分の心が決める～』

【講演会の概要】

「ニュースを見て思うこと」

先日の大雨による水害では、県内外で大きな被害が出た。そんな中、ボランティアで人のために尽くす人もいれば、避難している留守宅を狙い空き巣に入る人もいる。同じ人間で、どうしてこのような違いが出てしまうのか、是非考えてもらいたい。

「自己紹介」

自分の名前は「玉也」。原石は磨けば磨くほど輝きを増す。人間も同じ。自分自身を磨き続け、玉（宝石）のように輝いてほしいという親の願いが込められている。皆さんにもそれぞれ名前があり、親の願いが込められていると思う。ぜひ自分の名前を大切にしてほしい。

「5S・3直・3定」

会社では「5S」「3直」「3定」を実践している。「5S」とは、「整理・整頓・清潔・清掃・しつけ」の5つ。「3直」とは「直線・

直角・垂直」、「3定」とは「定位、定品、定量」ということ。なぜやっているのか？すべて意味がある。これらを徹底することで、仕事が効率的で、やりやすくなる。また、安全できれいな職場になる。その方が気持ちよく仕事ができる。つまり、「良い会社をつくるため」という目的で実践している。会社以外でも役に立つことだと思うので、ぜひ実践してもらいたい。

「心に残っている言葉」

親に言われた言葉で心に残っているのは、「自分の顔に責任をもつ」ということ。「顔は自分の心を表す」と親に教えられた。実は、出かける前に自分の顔を鏡でチェックするという習慣を、もう40年以上も続けている。顔を見て、今日の自分の心を確認し、1日をスタートしている。

もう一つは「自分の行動に責任をもつ」ということ。中学卒業と同時に、「これからは自分で好きなことをやっていい。ただし、自分の行動にはすべて責任をもつこと。」と言われ、身が引き締まったのを覚えている。

「海外での思い出」

まだ当時は後進国だったベトナムでのこと。訪問したある会社の守衛さんが熱心に本を読んで勉強していた。理由を聞くと、「勉強して今よりもっと給料のいい会社に入り、家族を幸せにしたいから」と話してくれた。この時に感じた、この国の勢い、情熱というものが、ベトナムに会社をつくる大きな理由の一つになった。貧しい中でも、みんな目標や夢をもっていった。貧しくとも目は輝いており、目標や夢をもつことの大切さを実感した。



「学ぶことの大切さ」

なぜ今、学校で学んでいるのか？一つ目は「必要な知識を身に付ける」こと。もう一つは「豊かな人間性を身に付ける」こと。社会に出てからは、この「知識（ツール）」と「人間性」を生かし成果（利益）を出していく。今はその人間としての基礎を学んでいる重要な時期。この時期をどう過ごすかで、将来が大きく変わってくる。

「成果（結果）＝**経験**×**知識**×**人格（人間性）**」

目標や夢の実現のためには、経験、確かな知識、豊かな人間性が掛け算のように関わりあっている。気を付けなくてはいけないことは、知識や経験にマイナスはないが、「人間性にはマイナスがある」こと。最初に話したように、困っている人のところへ空き巣に入るような人は人間性がマイナス。いくら経験や知識があっても、掛け算にマイナスが入ることで答えはすべてマイナスになってしまう。人間性をより磨いていこう。

「なりたい自分になるために」

豊かな人間性を身に付けるには、「本を読む」「よい友人を作る」「よい失敗をする」ことが大切だと思う。夢や目標をもって、毎日を真剣に生きていってほしい。そして出来るまでやり続けること。「凡事徹底」です。そして皆さんには、21世紀に大きく羽ばたいてもらいたい。

【生徒の感想】

- 私の中で印象に残ったのは「人間性にはマイナスがある」という言葉でした。学校では勉強だけでなく、人間性を学ぶことも大切だと分かりました。（2年女子）
- 私はまだ目標や夢を持っていません。でも今日の話聞いて、小さな目標や夢でいいから見つけていこうと思いました。（2年女子）
- 人間性を高めるためには、「おはよう」や「いただきます」など、当たり前のことを徹底してやるのが大切だと教えてもらいました。自分ではやっているつもりでしたが、今後は「徹底」してやっていきます。（2年男子）

第3回講師派遣



日 時：10月1日(木) 13:40～14:50

会 場：栃木市立藤岡第一中学校

対象者：2年生、教職員約100名

講 師：屋代 郁夫 氏

(株)サンテック 代表取締役副社長

演 題：『働くことの意義と学ぶことの大切さ』

【講演会の概要】

「人生の時間」

人の一生を時計（24時間）で表すと、みなさんは朝の8時30分くらいのところにいる。ちなみに私は夕方の18時くらい…（笑）。みなさんはまさに一日の始まり、人生のスタート地点に立っているようなものである。

「人間は社会的動物」

アリストテレスが「人間は社会的動物」と言ったが、これは、人間は一人では生きていけないという意味。社会を離れて人間は成り立たない。それは、それぞれに自分の役割があるということ。仕事をする、働くということも、その大切な役割の一つだと思う。

「志をもとう！それが人生の原動力」

小学生のころは野球の選手が夢だった。しかし、5年生の時に大病を患ってしまい、第1の志である野球の夢はあきらめた。入院生活を続ける中で、今度は「医者になりたい」という第2の志をもった。しかしこれも、試験の挫折により、夢をあきらめざるを得なかった。滑り止めで合格した大学に入学したが、最初のうちはモチベーションが上がらなかつ

た。しかし、大学の勉強を続けていくうちに、日本の技術の高さに驚き、「ものづくり」に興味をもった。そこで、第3の志を「ものづくり」に定め、今もその仕事を40年以上も続けている。



「なりたい自分・なれそうな自分」

アメリカ・スタンフォード大学の克蘭ボルツ教授（「計画された偶然性理論」を提唱）が、人生で成功を取めた人に調査したところ、18歳で自分のやりたいことが決まっていた人は、たった2%しかいなかった。18歳の時点では、自分が何をしたらいいのか見つかっていないことが普通。もちろん「志を立てる」ことは大切であるが、焦らなくてもいいから、自分のやりたいことをゆっくりと見つけてほしい。

「海外で学んだこと・感じたこと」

仕事で初めて行った海外は「韓国」。当時（1979年）、街には戦車が走り、銃をもった兵士が歩き回っていた。対日感情もよくない状況で、日本人と分かるタクシーには乗せてくれない、レストランでもご飯は食べさせてもらえない、アパートに石を投げられたこともあった。このような中で仕事をしたこともよい経験であった。

次に赴任した国は「マレーシア」。マレーシアは多民族国家で、マレー人（50%）、中国人（30%）、インド人（8%）などで構成されている。言葉もそれぞれの民族同士は母国語で話をするが、公用語は英語。そのため、ほとんどの人が3カ国語くらいは話せる。日本のように単民族で、ほとんどの人が日本語

しか話せない国の方が世界的には珍しい。

最後に行った国は「中国」。経済成長が著しい国で、2008年の北京オリンピック、2010年の上海万博と、すさまじい勢いで成長する中国を見てきた。

この3カ国で仕事をしてきて感じたことは、『学校で学んできたすべてのことは一つも無駄がなかった』ということである。「日本人としての言葉、文化」、「世界の地理、歴史」、「海外でコミュニケーションをとるための英語」、「ものを作り出すための自然科学」、「世界動向を判断するための数字を読み取る力」、「自分の仕事、活動を支える丈夫な体」、「分析・判断する力」、「人と人とのつながり」など、皆さんが今まさに学校で学んでいること、身に付けていることのすべてが、人生を豊かにする力になる。

「人は見えない力に動かされている」

人というのは目に見えない力に動かされている。親の愛、友達との友情、夢、喜び、これらはすべて見えない。でも、実際にだれもが感じているものである。志というものも、目には見えない。でも、志は間違いなく人を動かす原動力になっている。

みなさんの人生の時間は8時30分。これから長い人生を経験していくと思う。是非、実りあるすばらしい人生になることを祈念している。

【質疑応答】

- Q. 「夢をあきらめなければならなかったときは、どんな気持ちでしたか？」
A. 「もちろん悔しい気持ちもあります。しかし、とにかく前進することが大切です。」

【生徒の感想】

- 「志をもっていれば人生の原動力になる」という言葉が印象に残りました。私には「声優」という夢があります。でも、親には反対されています。今回の講話を聴いて、反対され続けても「志をしっかりと」と気持ちが固まりました。（2年女子）

第1回 栃木・埼玉・群馬・新潟 4 経済同友会交流会

日 時：平成27年 9月29日(火)

場 所：新潟県

参加者：栃木県経済同友会 11名
埼玉経済同友会 14名
群馬経済同友会 19名
新潟経済同友会 42名
新潟県知事 新潟市長



新潟経済同友会とは、平成22年度のサマーセミナーを新潟県当間高原にて合同開催したことをきっかけに交流が始まった。

新潟経済同友会は、以前から埼玉・群馬経済同友会とも持ち回りで交流会を実施していたことから、新潟の提案により、今年度から4経済同友会で交流会を開催することとなった。

【懇談会】

会場：NSG学生総合プラザSTEP

《歓迎挨拶》新潟経済同友会

代表幹事 池田 弘 氏



《新潟市 国家戦略特区について》

新潟市長 篠田 昭 氏

①新潟市のポテンシャル

- ・「全国トップクラスの農業力」

全国1位項目(市町村別)：耕地面積、米産出額、認定農業者数、食品自給率

②新潟フードバレー構想

- ・6つの戦略で取り組み推進

③国家戦略特区の取組状況

- ・農業生産法人の役員要件の緩和
- ・農業への信用保証制度の適用
- ・農業レストラン設置に係る緩和

④農業を核に地方創生のトップランナーに

- ・6次産業化⇒12次産業化⇒米輸出の先兵へ



⑤2016年サミット農業大臣会合新潟開催

《各地同友会の活動について》

各同友会の代表は活動報告・地方創生・総合戦略等をテーマに発表を行った。

- ・栃木県経済同友会

小林 辰興 筆頭代表理事

- ・埼玉経済同友会

利根 忠博 代表幹事

- ・群馬経済同友会

齋藤 一雄 代表幹事

- ・新潟経済同友会

今井 幹文 代表幹事

【視察①】

会場：いくとぴあ食花

- ・施設設置者は新潟市。
新潟市が指定管理施設として運営委託し、3つの事業体が専門性、これまでの他施設でのノウハウを発揮し、市民から愛される施設となるべく運営管理を実施。



【視察②】

会場：アグリパーク

- ・全国初の公立の教育ファーム
- ・教育ファーム事業
教育委員会の全面的な協力により、子供や家族、教育機関に農業を体験
- ・就農支援事業
農業に興味がある方への体験や技術指導により、就農定着をめざす
- ・食品加工支援事業
地元農産物による新商品の研究開発支援により、農産物の新たな魅力創出、ブランド化



【懇親会】

会場：鍋茶屋

創業は江戸末期の料亭（文化庁「保存文化財」登録）。



古町芸妓連による芸妓の舞を鑑賞しながら、4経済同友会会員間で活発な意見交換がなされ、親睦を深めた。



中津代表理事から「来年度の4経済同友会は栃木県で開催させて頂くので、多くの方に御参加して頂きたい」との挨拶がなされ、懇親会は閉会した。



経営問題委員会 第2回委員会【第1部】

委員長 吉原 正博
(株)カナメ 代表取締役

日 時：平成27年10月 5 日(月)

場 所：(公財) 栃木県産業振興センター

参加者：11名

「中小企業間の連携強化」をテーマにしている当委員会では、第2回委員会として2度に渡り視察を行った。

最初に「栃木県における中小企業連携の施策および現状について」を学ぶことを目的に、栃木県産業振興センターを視察した。

冒頭、栃木県産業労働観光部の関本様、茂呂様による栃木県の産業政策やものづくり支援事業について講話を受け、栃木県における中小企業連携の現状に対する理解を深めた。

本県は全国有数の「ものづくり県」であり、産業振興プロジェクトの一環として「重点5分野（自動車・航空宇宙・医療機器・光・環境）振興プロジェクト」を掲げ、産学官連携や研究開発、販路開拓等の支援を行っている。また、食の産業振興についても「フードバレーとちぎ推進協議会」を立ち上げ各種助成事業を行っている。



次に、(公財) 栃木県産業振興センターの寺沢様から同センターの中小企業の経営課題等解決支援や販路開拓支援の取り組み状況について話を伺った。

講話終了後に同センター内ジェットロ栃木を視察し、松永所長より海外進出支援の概要について説明を受けた。



その後、隣接する栃木県産業技術センターに移動し、微量香気成分分析装置や等大型電波暗室等の各種検査機器等の利用方法を実際に体験しながら視察を行った。



～終わりに～

中小企業の連携支援を学ぶとともに、栃木県の産業政策の現状や今後の地方創生との関わり方、また技術センターの保有する高度な検査機器による技術支援等、中小企業に対する幅広い支援策について学ぶことが出来有意義な視察となった。

経営問題委員会 第2回委員会【第2部】

委員長 吉原 正博
(株)カナメ 代表取締役

日 時：平成27年10月21日(水)

場 所：富士ゼロックスR&Dスクエア

参加者：9名

「中小企業間の連携強化」をテーマにして
いる当委員会では、第2回委員会として2度
に渡り視察を行った。

今回は第2部として「大企業と中小企業の
連携の実態を学ぶ」を目的に神奈川県横浜市
みなとみらい地区にある富士ゼロックスR&D
スクエアを視察した。



冒頭神奈川R&D推進協議会の岸本様、中
沢様から神奈川県におけるR&D事業を通じ
た大企業と中小企業の連携に関する取り組み
について学んだ。

神奈川県は、前知事時代から工場誘致より
R&D（研究・開発）施設の誘致に力を注い
できた。R&D事業は、長い時間を有する取
り組みであることから職員は地域に定着する
傾向にある。その結果、神奈川県はR&D施
設で働く職員数が全国一位になっている。た
だ、中小企業との連携となると難航してい
るのが現状である。要因の一つに中小企業の持
っている技術・ノウハウ・ヒト等の資産の「見
える化」が出来ず、大企業のニーズと中小企
業のシーズにミスマッチが発生していること
が挙げられる。対策として、両者のマッチ
ングをコーディネートする職員の質・量の底上

げが急務。専門知識を持つ企業OBの積極的
な採用が有効かと思われる。

次に、富士ゼロックス(株)の大西様から、富
士ゼロックスR&Dの取り組みについて話を
伺った。同社は、急激に変化する事業環境と
多様化するお客様の期待に応えるためR&D
スクエアに「お客様共創ラボラトリー」を設
立。具体的な実践事例を見ながら、お客様の
経営課題を一緒に明らかにし、お客様ととも
に解決する取り組みを行っている。コンセプ
トは「あつまる・ぶつかる・うまれる」。

お客様共創ラボラトリーは「オープンラボ」
と「セキュアラボ」の大きく二つに分かれる。
オープンラボは、実践事例を実際に体験でき
る場として、R&D部門の社員と実物で対話
を進めながらお客様の気付かない課題を明ら
かにする。セキュアラボは、オープンラボで
出てきた課題をビジネス化出来るかどうかに
ついて検証をする。この取り組みを通じて製
品化した案件もある。

また、施設内の一部を視察した。フロアの部門毎
に壁がなく、非常に開放的なオフィスであった。



～終わりに～

大企業と中小企業の連携に関し先進地域の
視察は非常に多くの気付きを得ることが出来
た。また、今回の視察中は参加者一人一人に
iPadが配布され、iPadを通じてその都度質
問をするというITを活用した「創造型会議」
を通じて、近未来的な会議を体験した。限ら
れた時間であったが、非常に濃密で有意義な
視察となった。

平成27年度 第2回栃木県経済同友会ゴルフ大会

日 時：平成27年10月24日(土)

会 場：宇都宮カンツリークラブ

参加者：26名

爽やかな秋晴れの中、宇都宮カンツリークラブにて平成27年度第2回栃木県経済同友会ゴルフ大会を開催した。参加者は26名、新ペリア方式により競技を行った。



【競技結果】

優 勝：古口 勇二 氏（株古口工業）
準優勝：佐藤 伸之 氏（佐藤建設工業株）
3 位：小池 美源 氏（野村證券株）

株古口工業の古口氏が見事優勝の栄冠に輝いた。準優勝は佐藤建設工業株の佐藤氏、3位は野村證券株の小池氏となった。

なお、今大会準優勝した佐藤氏がグロス78の好スコアでベストグロスであった。

【表彰式・懇親パーティー】

競技終了後、クラブハウス内にて表彰式及び懇親パーティーが開催され、小林筆頭代表理事の挨拶と賞品の授与を行った。

優勝の古口氏には小林筆頭代表理事から優勝カップ、優勝賞品が授与された。優勝カップ、優勝賞品授与の後、古口氏より優勝者スピーチをいただいた。



（小林筆頭代表理事から古口氏への優勝賞品授与）

今回も会員企業様から数多くの素敵な協賛品をいただき、抽選会も大いに盛り上がった。参加者全員に参加賞の他、特別賞をお渡しする事ができた。



皆様が日常の激務を一日忘れ、明日への活力を養う事の出来た一日であった。



会務報告

平成27年7月～平成27年10月（敬称略）

内容・日時	議事・報告等	出席者
社会問題委員会 第1回委員会 平成27年7月10日(金) 16:30～17:30	議事 (1) 平成27年度活動計画について (2) 栃木県の少子化の現状について 演題「栃木県における少子化の現状」 講師：小竹 欣男氏 栃木県保健福祉部こども政策課	12名
栃木交流研究会 第1回会議 平成27年7月22日(水)	議事 (1) 平成26年度活動報告及び収支報告について (2) 平成27年度活動計画及び予算について	13名
未来経営研究会 第2回世話人会 平成27年8月21日(金)	議事 (1) 第2回例会について (2) 第3回例会について (3) 第4回例会・第3回世話人会について (4) 第2回総会について (5) 第5回例会について	16名

ボランティアプロフェッサー講師派遣事業

(8～10月)

○宇都宮大学 工学部〔講座名：経営工学序論〕		
10月13日(火)	(株)酒井建築設計事務所 代表取締役社長 酒井 誠 氏	80名
10月20日(火)	(株)酒井建築設計事務所 代表取締役社長 酒井 誠 氏	80名
10月27日(火)	(株)ブルーヒルズ 代表取締役 陳 賢徳 氏	80名


新しい仲間たち

- 新入会員（敬称略・氏名50音順）
- ・平成27年9月17日 平成27年度第4回理事会での新規入会者

1. 会員

 <p>いし かわ ひさ こ 石川 尚子 オリオンコンピュータ(株) 代表取締役</p> <hr/> <p>紹介者 石川 英一</p>	 <p>おお うら かず たか 大浦 一隆 東京電力(株) 栃木総支社長</p> <hr/> <p>紹介者 飯村 慎一</p>
 <p>かみ や とし お 神谷 敏郎 (株)日立システムズ 関東甲信越支社長</p> <hr/> <p>紹介者 鷹箸 一成</p>	 <p>さい た ただ のり 財田 忠典 (株)ヤオハン 代表取締役社長</p> <hr/> <p>紹介者 川嶋 幸雄・伏木 昌人</p>
 <p>ひら い て たか し 平出 孝司 (有)エフ・エフ・ヒライデ 取締役会長</p> <hr/> <p>紹介者 石川 英一・鷹箸 一成・渡部 涉</p>	 <p>まる やま しゅう いち 丸山 修一 (株)和商コーポレーション 代表取締役</p> <hr/> <p>紹介者 鷹箸 一成</p>
 <p>よし だ げん 吉田 元 関東自動車(株) 取締役専務執行役員</p> <hr/> <p>紹介者 -</p>	 <p>わた なべ まき ゆき 渡辺 眞幸 渡辺建設(株) 専務取締役</p> <hr/> <p>紹介者 安藤 寛樹・平野 一昭</p>

- 会員の交代（敬称略） ※平成27年10月末日までの交代

 <p>はや かわ ゆう き 早川 雄基 (株)早川工業 専務取締役</p> <hr/> <p>変更前 早川 敏彦</p>
--

- 会員の退会（敬称略・氏名50音順）

1. 会員

- ・岸 達也（(有)岸興業 代表取締役社長）
- ・早川慶治郎（(株)足利フラワーリゾート 代表取締役）

2. 準会員

- ・市田 洋三（(株)想石 新事業部長）

※平成27年10月末日現在の会員数は267名、準会員数は8名です。
引続き会員増強にご協力願います。

訃報

当会の会員である「早川 敏彦 様（(株)早川工業 代表取締役）」が平成27年8月15日にご逝去されました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(公社) 栃木県経済同友会行事予定

日・曜日	12月行事(内容)	
3日(木) ? 4日(金)	第5回企画運営委員会	会場：鬼怒川グランドホテル 担当：高野
5日(土)	地域活性化支援実行委員会4プロ観戦 (リンク栃木ブレックスホームゲーム観戦)	会場：ブレックスアリーナ宇都宮 時間：17：00 担当：高野
8日(火)	第3回産業政策委員会	会場：栃木県総合文化センター 時間：16：00～18：00 担当：田口
9日(水)	モーニングセミナー	会場：宇都宮グランドホテル 時間：8：00～9：00 担当：武藤
10日(木) ? 11日(金)	未来経営研究会第4回例会	会場：伊香保温泉 他 担当：武藤
15日(火)	第3回理事会・第3回幹事会	会場：ホテルニューイタヤ 時間：16：00～17：30 担当：田口
17日(木)	ファミリークリスマス会	会場：ホテル東日本宇都宮 時間：18：30～20：30 担当：田村
日・曜日	1月行事(内容)	
8日(金)	新年例会	会場：宇都宮東武ホテルグランデ 時間：16：30～18：30 担当：田口
26日(火)	新春経済講演	会場：ホテル東日本宇都宮 時間：13：30～ 担当：國分
28日(木)	正副委員長会議	会場：ホテルニューイタヤ 時間：15：00～17：00 担当：國分

- ・上記の予定は、11月6日までに確定しているものです。
 - ・開催未定の行事につきましては、確定次第、所属の委員・会員の方にご案内いたします。
- 栃木県経済同友会事務局 TEL 028-632-5511 ホームページ <http://douyuukai.jp>